

事業所名		夢空ユニコーン				支援プログラム		作成日		令和7	年	3	月	17	日
法人（事業所）理念		・障がいの有無に関わらず、子どもたちがのびのび育ち、みんなに愛され大切にされる。 ・子どもとその家族はその人らしく生きる権利があり、家族が望む生活の実現に向けて尽力する。 ・地域福祉の向上のため、地域との連携を図り、親しみのある事業所を目指す。													
支援方針		・子どもの主体性を大切に、心地の良い場所で安心できる職員と一緒に持てる力を発揮できるよう支援する。 ・専門的な視点からのアプローチで、子どもとその家族の生活がより豊かになることを目指す。													
営業時間			9 時		0 分から		17 時		45 分まで	送迎実施の有無		なし			
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	自分でできる身の回りのことに取り組み、ADL(日常生活動作)向上の手助けをする。													
	運動・感覚	ダンス、トランポリン、平均台、ハンモック等で体を大きく使い、体幹機能やバランス感覚を強化する。 五感(視覚・聴覚・触覚・嗅覚・味覚)を使って様々な素材の物と触れ合うことで指先の感覚が分ったり、想像力や好奇心を育み、身近な物への理解を深めていく。 身体・手指の機能訓練は、法人内の専門職(理学療法士、作業療法士、看護師、心理士)から助言を得て、支援に活かす。													
	認知・行動	絵カードや手順書の提示、個別にゆっくり伝える等の方法で子どもにわかりやすく活動内容を伝える。 理解することで子どもが意欲的に活動に参加でき、次の行動へスムーズに移行できるようサポートする。													
	言語 コミュニケーション	子どもが好きな遊びを通して相手に思いを伝えたいという気持ちを膨らませ、子どもが発する小さなサインを汲み取り、言語化して児童に伝えることで言葉を育てる。 言語でのやり取りが難しい場合には絵カード等でのコミュニケーションツールを探り、子どもが自発的に発信できるようサポートする。													
	人間関係 社会性	子どもが好きなことで職員と一緒に遊び、子どもが要求したことに応じてもらえる喜びを積み重ねていき、信頼関係を構築する。 職員との信頼関係を基盤に新しいことにも挑戦し、“できた！”の気持ちを育て、自己肯定を高めていく。 遊びの中にSST(ソーシャルスキルトレーニング)を取り入れ、相手の気持ちを考えることやルールを守ることを学ぶ。													
家族支援		利用後に活動内容や様子をフィードバックする。 子どもの発達の理解を深める勉強会や知っておくと安心な福祉制度の紹介、就学に向けたサポート等を実施する。 保護者同士の繋がりを作り、一人で抱え込まず子育ての悩みを共有できる場を提供する。							移行支援		子どもが利用している保育園等と連携を図り、定期的に情報交換を行い、共有する。 幼稚園、保育園選びや就学に向けた進路活動は、保護者へ情報提供を行い、子どもに合った進路先を選択できるようサポートする。				
地域支援・地域連携		地域にある保育園・幼稚園の園児や、地域の児童館等で発達が気になる、対応に苦慮している等の場合に相談窓口となる。 必要に応じて園へ訪問し、子どもの様子を見学して、園の先生と支援方法を検討する。							職員の質の向上		新任職員は、発達障害の理解、支援方法(PECS、ソーシャルスキルトレーニング、機能訓練)、人権擁護、虐待防止の研修を1ヶ月以内に受ける。 全職員対象に、スキルアップ、キャリアに応じた研修、リスクマネジメント、感染症対策、救命救急法、その他ケースに応じた研修を適宜受け、現場で活かす。 毎日のミーティングで支援の振り返りと検討を行い、意図をもって統一した支援を提供する。				
主な行事等		ハロウィンパーティ、クリスマス会等 親子で参加できるイベント(クッキング、制作等)を実施する。													